

時代とともに
地域とともに

三郷堰100年のあゆみ

1917~1919

【大正6年~大正8年】

3年に亘る大旱害
収穫皆無 200余町歩に
及ぶ大惨状

旧東村山郡後河原にて揚水
施設による耕地整理組合
結成に関する懇談会を開く
(準備会結成)

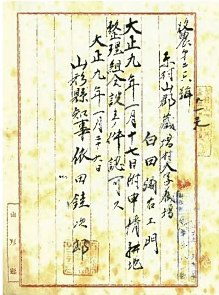
関係郷村の有志、三郷堰
耕地整理組合を視察する。
その後、三郷堰耕地整理
組合設立協議会を設立

1920 【大正9年】

東村山郡三郷堰耕地整理組合
設立認可
収農第216号
東村山郡蔵増村大字蔵増
白田彌右工門
大正9年1月17日附申請
耕地整理組合設立認可
大正9年1月26日
山形県知事 依田鈺次郎



第一段揚水機場 吐出口(現事務所東)



第一段揚水機場基礎工事状況(寺津)

1925 【大正14年】

区画整理及び開田工事申請、着手

1925 【大正14年】

耕地整理事業完成



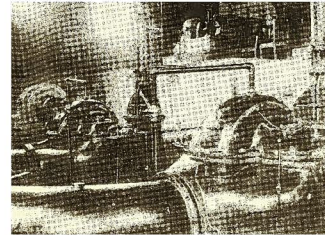
最上川取水口水門
(現事務所西側)

1937 【昭和12年】

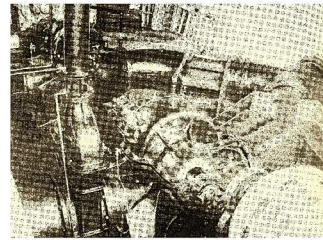
山形県へ最上川筋流水引
用
工作物築設申請
昭和10年頃より揚水機の摩耗
が甚だしくその寿命は限界へ
と迫る

1938 【昭和13年】

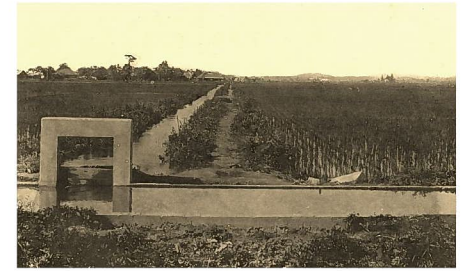
揚水機の更新(ガスから電動化へ)



代目第一段揚水機(現在の歴史資料館)



第二次揚水機の一部



耕地整理地区(現在の第一分水付近)



豊穡の面田

1948 【昭和23年】

耕地整理組合事務所を第一段揚水場内に
移転し固定する

1920
大正9

1925
大正14

1938
昭和13

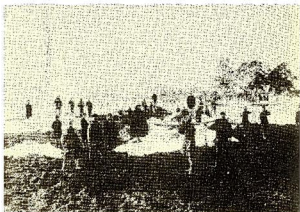
1941
昭和16

1949
昭和24

1920 【大正9年】

組合設立と同時に、部分調査設計書が
交付された。長沢組合長は、大正9年1月
31日付で開墾助成法に依る施工を大正
9年4月1日より開始する旨の請書を、
農商務大臣に呈出した

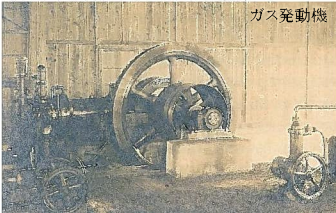
6,311筆 600町歩に亘る地域を整理する
に当り、散在している国有地を地区編入
する諾否を関係村の首長から得ることが
先決であった。



耕地整理(願正堰付近)

1921 【大正10年】

大正9年4月着工 大正10年4月完成

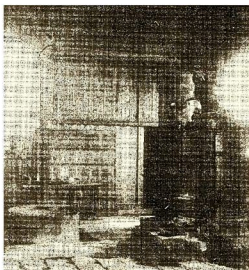


第一簡室吸入瓦斯(ガス)機関
(モーターの代わり)

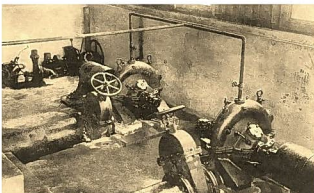
1920 【大正9年】

国有地の地区編入許可
収農第215号
東村山郡蔵増村大字蔵増
白田彌右工門
大正9年1月17日付申請東村山郡寺津字
開原5番地道路外605筆国有地ヲ耕地
整理組合地区ニ編入ノ件認可ス
但、工事完了ノ上ハ新設分ハ国有地ニ編入
ノ義又不要ニ届シタル分ハ交付ノ申請スヘシ
大正9年1月26日
山形県知事 依田鈺次郎

簡筒(じょうとう)とくわ(くわ)・・・ポンプのこと。水などに圧力を与えて送り出したり高所へ上げたりする装置。揚水・排水などに用いられる。
あのくわは・・・井口存置(のくわもあり)が説明。教えたの富山 前(のちに株式会社津原製作所を設立)が実用化を進めた。



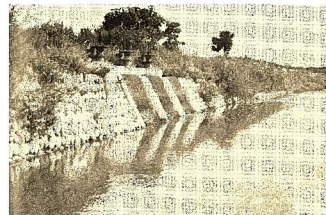
揚水機の動力となる蒸気機関



第一簡室吸入のくわ式簡筒(ポンプ)

1938 【昭和13年】

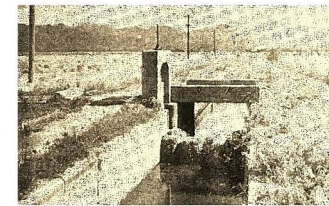
第一段目揚水機の解体開始
旧揚水機を代替品として鉄府の供出により
製造認可(西高製作所)
山形電気株式会社と電力の需給に関する
契約締結。長崎、神町より送電(現在の長村線)



代目最上川取水口

1941 【昭和16年】

県営三郷堰用水改良工事竣工式挙行
(寺津小体育館)



幹線水路上谷地分水口(現第一分水付近)



幹線水路(願正堰)



第二段揚水機(高橋)

組合長・理事長 就任年

【大正9年】

岡崎弥平治 長沢信次郎

【大正13年】 【大正14年】 【昭和2年】

森山正義 伊藤 要 高橋大四郎

【昭和9年】

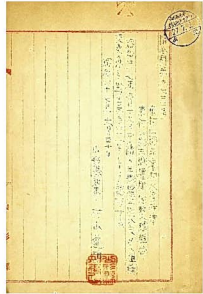
白田弥右工門

時代とともに
地域とともに

三郷堰100年のあゆみ

1952【昭和27年】

三郷堰土地改良区合設立認可
指令排第5722号
東村山郡寺津村寺津
東村山郡三郷堰耕地整理組合
昭和27年5月19日申請の三郷堰土地改良区へ
組織変更の件を山形区第121号として認可する
昭和27年6月30日
山形県知事 村山道雄



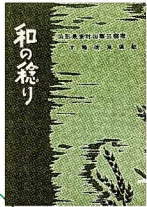
最上川河床低下により
ブルドーザにて取水口堰上げ



揚水機羽根車の摩耗

1958【昭和33年】

山形県東村山郡三郷堰土地改良区誌
「和の総り」発行 丸山 茂 著
設立40周年記念



1964【昭和39年】

最上川取水口付近の河床低下の
傾向、須川の水が流入し始める

1966【昭和41年】

須川の水によって、揚水機の羽根車
腐食摩耗がはげしく、揚水能力が低下

1976【昭和51年】

県営飢毒対策事業着工



幹線送水管埋設工事(中山町から大蔵町まで)



事務所前までの暫定用水

1970【昭和45年】

県営土地改良事業調査申請

1980【昭和55年】

県営ほ場整備事業着工



面工事 仕上・整地作業状況



工事の検査状況



1952

昭和27

1958

昭和33

1976

昭和51

1980

昭和55

1983

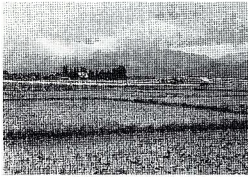
昭和58

1953【昭和28年】

水路排水路復旧工事着手
昭和28年～昭和32年

1958【昭和33年】

大旱魃のため、三郷堰の余剰水を
高橋西部に給水(約1,000mの仮設水路)



高橋西部に緊急用水支楼

1962【昭和37年】

創設40年に先駆者のの偉業を偲び
後世に伝えるため、記念碑を建立した
記念碑完成(白田弥右エ門 題詞)
丸山 茂 撰文 徳波貞徳 識書
小松 忠 作刻(三郷堰事務所前)



記念碑除毒



除毒式の役職員

1976【昭和51年】

県営飢毒対策事業着工



最上川を締切っての頭首工工事



頭首工可動堰の設置状況

1983【昭和58年】

県営飢毒対策事業完成
事業費:2,632,928千円



三代目最上川・頭首工全景(中山町)



三代目揚水機(中山町)



須川に架かる三郷堰水管橋(ランガー橋)



三郷堰幹線用水路で泳ぐ子供たち



上水路を石積水路にするため出役する組合員

【昭和35年】

仲島信吉

【昭和39年】

太田庄作

【昭和43年】【昭和44年】

鈴木宗三 松田権七

【昭和51年】

大石正一

【昭和55年】

後藤健蔵

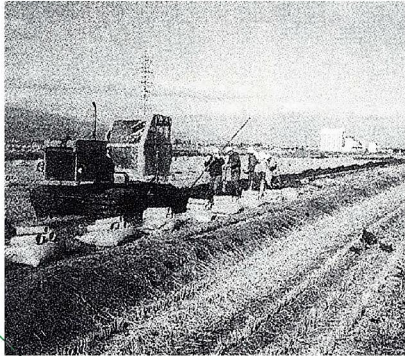
白田弥右エ門

時代とともに
地域とともに

三郷堰100年のあゆみ

1986 【昭和61年】

県営ほ場整備事業・暗渠排水工事着手
1986年(昭和61年)～1987年(昭和62年)



素焼き土管の暗渠排水工事

1990 【平成2年】

三郷地区県営土地改良事業竣工記念碑
「和の絵り」除幕 (天童市矢野目)



記念碑除幕式(矢野目西沼田)



1991 【平成3年】

県営ほ場整備事業完成
事業費;4,312,789千円
水管理システムやコンピューターの
導入により、効率的な維持管理体制の
確立を図る



事業完了し作付けされたほ場全景



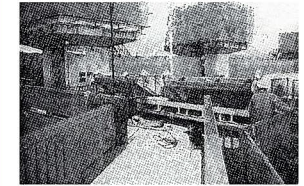
反復第一揚水機(蔵増)



水管理システム完成

1997 【平成9年】

土地改良維持管理適正化事業
顕首工整備



顕首工大規模整備

1994 【平成6年】

高温・早稲になり、最上川の水位
低下し始め、番水体制を始める

1996 【平成8年】

東北中央自動車道路(高速道路)の設計
協議まとまり、用地買収に着手(15ha)

1985
昭和60

1985 【昭和60年】

ほ場整備事業に伴う沼田B遺跡発掘
古墳時代の農村集落跡発見
(後の西沼田遺跡)



1990
平成2

1990 【平成2年】

県営ほ場整備事業竣工式典



県営ほ場整備完成

1991
平成3

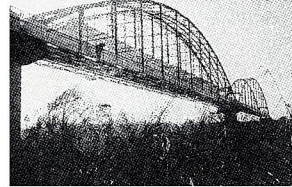
1992 【平成4年】

総代、役員の名義削減により
初めての選挙を実施



1991 【平成3年】

土地改良維持管理適正化事業
水管橋塗り替え塗装(1991～1993)



大規模な水管橋塗装

1993 【平成5年】

各地区に管理運営委員会を設立
維持管理体制を構築する



1992 【平成4年】

農用地等集同化事業、農林水産大臣賞受賞



農林水産大臣賞受賞祝賀会

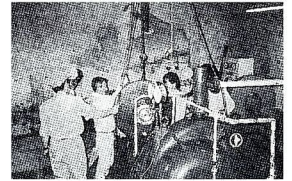
1998
平成10

1998 【平成10年】

平成10年8月7日
中山揚水機場水害発生
災害復旧事業に取り組み
総事業費14,379千円



中山揚水機場の水害(H10)



1週間で水害の復旧(H10)

後藤健蔵

【昭和63年】
大石真市

【平成4年】
押野カ

【平成8年】
秋葉忠

三郷堰100年のあゆみ

2003～【平成15年】

防災体制の強化に向けて
毎年8月7日に総合防災訓練の実施



2003～【平成15年】

第1回施設深めぐり
三郷堰・水の駅スタンプラリー開催
(子供から大人まで誰でも参加自由)

2004～【平成16年】

頭首工クリーン作戦(ゴミ拾い)
第1回ふれんどじっぽ水辺の郷サミット開催
(堰を中心とした関係者が集まり最上川の
水に感謝しながら周辺のゴミを拾う活動)



2004【平成16年】

新農業水利システム保全対策事業採択着工
機能診断や水利用と管理のあり方の検討を行う
排水路法面保護や用水路目地補修など実施



2008【平成20年】

三郷堰設立八十八周年記念事業実施



旧事務所(旧第1段揚水機場)
大正の面影を残す和洋折衷建築

2012【平成24年】

農地耕作条件改善事業の実施(28ha)
(複数田を1枚のほ場に簡易整備)



2013【平成25年】

全国農業会議所・全国農業新聞賞受賞
(三郷堰の取り組みが耕作放棄地発生
防止活動として評価された)
受賞内容の報告及び受賞祝賀会の開催



2019【平成30年】

土地改良維持管理適正化事業により
中山揚水機の電動機を更新



中山揚水機電動機修繕式

2020【令和2年】

三郷堰設立100周年記念事業の実施
記念式典
記念祝賀会
記念碑の建立
記念モニュメントの造成
記念品の制作
記念誌の発刊



2002

平成14

2003

平成15

2007

平成19

2008

平成20

2012

平成24

2020

令和2

2002【平成14年】

平成14年7月11日
中山揚水機場水害発生
災害復旧事業に取組み
総事業費45,966千円



水害直り吸水槽ブロック崩壊



緊急場内排水作業

2003～【平成15年】

第1回総合学習
田んぼの水探検隊を開催
(管内の小学生と土地改良施設を
見学し五感で学ぶ)



2007【平成19年】

県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
保全計画着手



2004～【平成16年】

さんごうぎ地域振興研究会発足
ふれ愛農園の開園
(会員と一緒に野菜などを育て
触れ合い、味わう月1回程度の活動)



2009【平成21年】

第1回土地改良区新事務所完成
三郷堰設立八十八周年記念誌
「和の縁り」発行



2007【平成19年】

農地・水・環境保全向上対策事業の採択
(現多面的機能支払交付金事業)
平成18年モデル活動を経て
管内6地区ごとに活動を開始



2012【平成24年】

二十一世紀土地改良区創造運動全国大賞受賞
称号「地域交流クリエーター」
受賞内容の報告及び受賞祝賀会の開催



2010【平成22年】

美しい山形・最上川フォーラムと 一緒に活動
平成26年からスホGOMI大会として開催
(スポーツ感覚でゴミ拾いを行う)



【平成24年】

櫻井政登